

平成29年度生野区政会議(第2回全体会)
いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成29年11月15日(水)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご意見・ご提言(要約)	回答内容(要約)、対応
山本委員	今後3年以内に今里から湯里までをBRTでつなぎたいと言っているが、これはいつから3年以内なのか。また、このつなぐということについて、何か具体的に進めてきたことがあるのか。	7月にできた都市交通局で現在検討を進めているところで、基本的には来年の民営化後の3年間と考えていただいていいと思いますが、それに向けて今、検討しています。 どういったかたちで進めていくか、そのための予算も計上されているということです。
亀田委員	子育てプラザのサイトがオープンしたということだが、区役所のホームページからリンク等はあるのか。	子ども・子育てプラザホームページ、いくのde育～のというホームページですが、大急ぎで作らせていただき本日公開させていただきました。近いうちに区役所のホームページにもリンクを貼りますし、あらゆる面で周知をしていきたいと思っていますので、もう少しお待ちください。 【全体会后】 現在生野区のホームページにリンクを貼っています。
亀田委員	地域交流施設の運営補助金は減額されると地域としても会館の運営費と言うのが一番赤字になりやすく困っている。中川校下は古紙のコミュニティ回収が始まっていて会館運営の足しにしているが、まちづくり協議会立ち上げ時に生野区から各地域まち協にコミュニティビジネスとしておろせる仕事があればおろしたいという話があったが、今までおろしていった仕事は何個くらいあるのか。	現在実際に行っているのは1事業だけになります。 内容は桃谷駅の駐輪対策と自転車の啓発・指導ということで、東桃谷さんや、いわゆるAブロックの方々に応募いただき、現在2・3年目になります。 他にも考えていかななくてはいいませんが、まだ検討中でなかなか出せないのが現状です。
山本委員	コミュニティビジネスとして広報紙の配布を地域に任せてみてはと言う問いかけを部会でしましたが、この問いかけに対して役所はどのようにかんがえているのか。	城東区で全戸配布するという話からだったと思いますが、城東区長に会うことがあり、聞いてみたところ3年かけてやろうと思っているという話でした。全戸配布についてはもちろん過去に一度は検討した経緯があり、もう一度改めて、可能性があるかというところで、戸建ての多い生野区で3日間で配りきらなければならないが本当にできるのか。もう一つは予算の問題で、それほど報酬がやっぱり用意できないということがあります。 例えばまち協さんが手を挙げていただいてモデル的に3日間で配り切るからやってみたいということであれば、こちらはこの予算までなら出せますがどうですかということも全くできないわけではないので、もう少し中でも具体の数字を詰めてはなしあいたいですし、実際そうなると全てのまち協さんとお話をしなければならないと思います。 東成区での事例もありますし、他の区にもきいておりますので、情報を取りまとめて、また次の機会にお話ができたらと思っています。

平成29年度生野区区政会議(第3回全体会)
 いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の方考え方、対応

開催日:平成30年3月15日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の方考え方、対応(要約)
室谷委員	BRTの運行についてはしっかりわかる形で良かったというように生野区としても都市交通局等と連携を取りながら大いに意見を述べていってほしい。	現在、都市交通局とも意見交換等を行っており、実際に生野区にどれほどの影響を与えるかといったことにも注視しながら、将来ビジョンを進めていく中でどこまでインパクトを与えるかと言ったことも考えていきたいと思っています。
室谷委員	安全・安心対策について、台風21号の時に平野川と平野川分水路が大変危険な状況になっていた。今の小学校の避難所を守ることと併せて、さらに充実させていくように進めていってほしい。	台風21号の影響を受けて、現在大阪市では警報や勧告を出す時間等を検討しているところです。それを受けながら生野区内における地域防災計画等を地域の皆さんとお話しながら考えていきたいと思っています。
室谷委員	生野区には広大な交通空白地域がある。これは駅から500m、バス停から350mという公共交通確保の基準があり、それに満たない部分が、巽、田島、生野、西生野の4小学校区の半分を占めている。高齢者や子ども達にも地域交通コミュニティバスは大変大事なことであり、まちづくりの土台であるにも関わらず、このまま地域で考えてくださいということでは話にならないと思っている。	セミナーでも講師の方に説明をいただきましたが、地域の皆さんで色々考えておられること、地域のニーズを出していただくこと、地域の皆さんでどのような交通が良いのかというご意見を出していただきましたら、それに対して、行政としても積極的に支援していきたいと考えています。
辻浦委員	オウム真理教、現アレフについて、拘置所から7名ほど地方に移動しており、それは死刑を前提としていると思いますが、松本死刑囚がもし死刑になったとしたら信者はどのようなことをするのかものすごく心配している。	公安調査庁と情報交換をしながら、行政としてできるような支援を行ってまいりたいと思いますが、まずは公安調査庁から情報をいただきながら調整していきたいと思っております。
山本委員	中学校の跡地は小学校の再編がされ次第大阪市の全体の方針に従い売却することとなっているが、地域の防災のためにも中学校跡地の売却をやめてほしい。 鶴橋中学校は現在避難場所に指定されているのにそれを売却するのはおかしいのではないか。	大阪市内で未利用地の活用方針というものを定めており、廃校等でその用途を廃止した場合においては、いったん未利用地ということになります。基本的に未利用地については、売却を基本として活用を検討していくという方針がベースにあります。が、西部地域についてはその方針によらず小学校については避難所として残していく方向で検討しておるところですが、中学校はそれから外れて、現在大阪市の方針に従って進めるということになります。
中川委員	私には1歳の子どもがおりますが、教育の質はやはりある程度の人数が集まって行われることにあると思うので、皆さんの地元にかける思いはすごくあると思いますが、私のような立場からすると、統廃合というのは進めてもらって、今から子育て世代がちゃんとした教育を子どもに与えてあげられるような状況を作っていただきたいと思う。	—

平成30年度生野区区政会議(第1回全体会)
いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成30年6月14日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
室谷委員	【西部地域学校再編整備計画について】 ・教育こども委員会で「最終合意がないまま学校の統廃合の事例がなく、設計予算については保護者、地域の合意がなければ元に戻ることは認識しており、今後、最終合意を前提として協議を進めていく。」としているが、これに対してどう受け止めているか。 ・準備会が足並みがそろっていないところでどんどん進められているが、一旦立ち止まって考えてみるということが今の状況の中では大事なのではないか。 ・地域からの陳情書や集会の後など様々な形で一旦立ち止まってほしいという声が上がっているが、今の状況で本当に合意がなされていると考えているのか。	・実施設計予算は、工事をするためではなく、あくまで設計をするための予算として計上しています。実際に合意をいただかなければ工事は進んでいかないと認識しておりますので、皆さんの意見を無視して進めているということではないのでご理解いただきたいと思います。 ・この間ご理解をいただきながら設置している準備会については、ご意見をいただく場ですので、引き続き進めていきたいと考えています。その後、学校整備計画の案をつくった上でまた説明をさせていただき、合意をさせていただくという形になるかと考えています。 ・現在はまだ学校設置協議会の準備会と言う段階で、ご意見をいただいているところですので、賛成、反対という形の合意を得た段階ではないと考えております。
猪股委員	【西部地域学校再編整備計画について】 当初、地域、PTA、保護者の方の意見がないまま4校存続、8校廃校・閉校の考えが出され、これは何年経っても変わっていない。しかし、避難所や通学路の問題、色々話し合われているが肝心要のところは触れてはいけなような準備会となっており、これは意味があるのかと前から思っている。 また、昨年11月24日に、この整備計画案を進めてもらいたいという陳情書は12月の議会ですぐ採決されたが、3月5日のもう一度立ち止まって話し合いたいという陳情書は今まだ継続審議の状況で、これは看過できない。 再考してもらえよう検討してもらいたい。	—
新井委員	【西部地域学校再編整備計画について】 将来的なことも本当に大切だが、学校現場では卒業遠足などに1校ではバスがチャーターできずに2校が合同で行く現状がある。今通っているこどもたちの事を考えると、ずるずる議論が続いていくことが本当に良いことだとは思わない。皆それぞれに思いはあると思うが、本当にこどもたちのことを考えていろいろ意見してもらいたいと思う。	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
栗信委員	【西部地域学校再編整備計画について】 中学校へ行った際、人数が少なくて部活動を他の学校と合同でしていると聞いた。人数が少なくてやりたいことがやれないということは、その子たちの育成、目標が無くなってしまうことになる。それは大変なことだと実感した。 地域で皆さんが言っていることは賛成も反対もしないが、本当にこどもたちに聞いているのか。こどもたちの意見を尊重して、それをもとに進めてもらいたいと思う。	—
室谷委員	【西部地域学校再編整備計画について】 林寺地域で通学経路を回り、様々な危険箇所があることがわかった。通学が遠距離になると交通事故の危険性が高まる問題がある。	—
亀田委員	【西部地域学校再編整備計画について】 学校再編と跡地活用は別々に委員会を立ち上げて話し合った方が話が早いのではないかと思います。	現在、ご提案いただいた内容で進めていこうと考えております。 跡地についてはある程度準備会の中でもご意見をいただきますが、実際にそうなる場合は跡地活用の委員会は別にしっかり立ち上げますし、現在色々調査業務を行っております。
亀田委員	【西部地域学校再編整備計画について】 学校の再編でこどもたちの通学距離が遠くなる等の意見をよく聞くが、安全面をきっちりすれば、通学距離等は慣れもあるし、体力づくりにもなるのではないかな。	—
森口委員	まちづくりについて、区役所として生野区全体に対するまちづくりのイメージはあると思うが、例えば、正直、北鶴橋と巽東は状況が違う。そのあたりはどう思っているのか。	確かにエリアごとに特徴がありますので、小さなエリアでまちづくりを考えていき、また皆さんにも知恵を出してもらいながら進めていけたらと思っています。
亀田委員	「密集住宅市街地整備のための補助制度のご案内」ですが、新しい30年度版ができた場合、回覧板等で周知する予定はあるのか。	補助制度の詳しい内容はあまり知られていないと思うので、何らかの形で周知させていただきたいと思います。

平成30年度生野区区政会議(第2回全体会)
いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成30年11月29日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
山本委員	地下鉄今里筋線の延伸について、今後どのようになっていくのか。	BRTを社会実験で走らせ、どれだけの需要があるのか、実際に乗る方がどれだけ増えるのかを5年かけて検証し、今後の展開をどうしていくのか考えていきます。 なお、詳しい説明が必要でしたら、都市交通局の方に確認させていただきます。
亀田委員	学校にカセットボンベで発電できる発電機がある。普通の発電機より簡単に動くので地域で試していただければと思う。	—
室谷委員	生野区西部地域学校再編整備計画案に関して、合意がないまま進むという形になっているので、一旦立ち止まって考えてほしい。	生野区西部地域学校再編整備計画はこどもたちの教育環境の改善とすることを目的に進めております。 学校設置協議会準備会では、まずは意見交換をする場ということで地域・PTAの方からご理解をいただき、委員に出ていただいた上でいろんな意見をいただいているところです。 しっかりとご理解をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
栗信委員	聴覚障がい者の方と接した際に、区役所に手話通訳者がいないと聞きました。「なんでも相談いらっしゃ〜い」のチラシには通訳がいるとなっているが、本当にいるのか。	「なんでも相談いらっしゃ〜い」の相談員の中には、手話通訳ができる方も何人かおられると聞いていますが、常時おられるかはわかりかねますので、詳しくは先方にお問合せください。

平成30年度生野区区政会議(第3回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成31年2月13日(水)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
杉浦委員	避難所開設の周知方法について、連絡網を設けるか、班長に伝えるか、マイクで知らせるかなど、町会等で予め決めておいた方が良いと思う。	—
清水委員 服部委員 山本委員 亀田委員 川上委員 田中委員	・学校跡地の活用について、「みんなの学校」という考え方は、生野区に來られた外国人の方々や子育て中の方々、こどもたちなどが、学びをきっかけに集まることができ、また集客方法など、区民の方々がアイデアを出し合うことによってもつながりが生まれ、非常に良い、期待できる取組みであると思う。 ・学校跡地の活用方法として、外国から來た方々やそのこどもたちに日本語を教える場所を提供してほしい。 ・学校跡地は地域に近く、参加しやすいので、乳幼児対象のイベントやマタニティ教室等もそこで行ってほしい。 ・北翼の「生野区子ども・子育てプラザ」では、外国人の親子も交じって交流しており、それが日本語学習にもつながっているのので、そういった施設を紹介して行ってほしいし、参加してもらいたい。 ・「松野農園」のように、外国人の方と一緒に何かをする機会を増やすことはとても大事であると思う。	—
服部委員 山本委員	・こどもが3人いる家庭で、2人は別々の保育園へ行き、1人は入れないという話を聞いている。保育所で待機児童がなくなると聞いているが、本当なのか。 ・待機児童がいきなりゼロになることはないが、様々なことを積み重ねて初めて実現するものなので、頑張ってもらいたい。	待機児童に関しては、いろんなケースがあるため、個別でのご相談やお問い合わせをいただければと思います。
川端(麗)委員	・外国籍の方の声をこういった場で聞いて議論できればいいかと思う。 ・生野区は多文化都市としては全国的に注目されていると思うが、取り組み等については全国レベルの中であまり聞こえてこないのので、少し残念に思う。外国の方が急増してから何かを考えるのではなく、先んじて考えることが重要だと思う。	—

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
猪股委員	・生野区西部地域学校再編整備計画について、1万1,000筆の署名を提出した。こどもの数の激減はわかるが、良い再編をするためにも、一度立ち止まって話し合いの場をつくり、私たちの意見を含め、多様な意見を聞いてもらいたい。 ・また、学校設置準備会では公平な運営をお願いしたい。	生野中学校区については、34年4月に向け、賛成の意見がある中で、学校設置協議会を設置して進めています。 また、他の地域の学校再編につきましても、特に関係する小学校低学年や未就学の保護者の方に対し、直接しっかりと伝えられるような場を設けながら、地域ともしっかりと話を進めていきたいと考えています。
室谷委員	生野区西部地域学校再編整備計画案について、当初の中身と異なる形で進められているのは非常に問題である。統廃合ありきの形でどんどん違った形で進めるのではなく、一旦立ち止まってまちづくりを考えるべきだと思う。	—
栗信委員	桃谷中学校開校により、これまで鶴橋中学校で悩み相談を受けていた「元気アップ」の方々はどうか。また、保健室には悩みを聞いてくれる先生が何名くらい配置されるのか。	「元気アップ」の中身について、こういった形になるのか現時点では決まっていますが、今後学校と調整し、検討していきたいと考えています。 こどもたちの悩み相談を受け入れる場としては、現在鶴橋中学校、勝山中学校でそれぞれ週1日、スクールカウンセラーの配置がありますが、桃谷中学校開校後は、現時点では週5日配置する形で予算を要求しています。また、両中学校に現在配置されているスクールカウンセラーの方々に、最低一日は来てもらえる形をお願いしているところであり、こどもたちが相談しやすい状況になるようにと考えています。
山本委員	事前質問(参考資料3の8番)について、区役所など公共施設の案内表示や情報発信が外国人に対しても配慮されていてわかりやすいかどうかは、区民全般よりも実際に住んでいる外国人に聞くべきではないか、という内容で提出したが、区役所からの回答が区民全般に聞く趣旨のままであり、回答になっていないと思う。	区民アンケートという性質上、無作為抽出させていただいた区民の皆さんへ、たくさんの質問に回答いただいて統計を取らせていただいていますので、区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると、そう感じられた区民の方がどれだけいらっしゃるかということ、まずアンケートで質問していきたいと思います。 一方で、本質についてはおっしゃるとおりで、外国人の当事者の方のご意見が一番大事であると思います。ご意見を頂く場としては、多文化カフェやイベント、フォーラム等があり、区内の行政機関とも連携しながら進めていけたらと考えています。
山本委員	桃谷中学校開校にともなう校長先生、教頭先生について、現在の勝山中学校、鶴橋中学校の校長・教頭からそれぞれどちらか1名ずつ配置するように配慮してほしい。	教職員の人事の件になるため、必ずしもその通りになるかどうかはお答えできませんが、再編による新しい学校ができることは大きな要素であると思いますので、いただいたご意見について、教育委員会に対してしっかりと伝えていきたいと考えています。

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
山本委員	事前質問(参考資料3の9番)について、自分が提出した内容から一部削除されているが、それはなぜか。また、削除するにしても、事前に本人に連絡すべきであると思う。	削除させていただいた箇所については、内容が正しいかどうかの判断が難しかったことから、資料としては削除させていただき、口頭でご説明するように考えていたところです。ただ、削除するにあたっては、時間があれば事前にその旨をお伝えする必要があったことから、今後はそのように取り扱っていきたいと思います。
森口委員 辻浦委員	・ごみの問題について、民泊に伴って、ごみのマナーが非常に悪く、曜日や収集に関係のないごみが細い路地に放置され、近隣の家々からの苦情も発生して困っている。皆様の地域ではどのようなになっているか。 ・路地のごみについては、話し合いにより、路地から離れた自分の家の前に置かせてもらうようにしている。不法ごみについては、環境局に連絡して回収してもらったり、捨て方がわからない世帯には、ごみの曜日一覧表を持っていき、指導したりしている。	—
森口委員	・区の公式ではないと思われる、生野に関するソーシャルネットワークが勝手連的に発信されているのをたくさん見かけるが、責任の所在がわからず、その管理や線引きをどうするのか。 ・ソーシャルネットワークの立ち上げ方について、多文化共生の内容に片寄ったり、良い内容ばかりを発信するのではなく、ごみの放置といったまちの課題を取り上げる等、もう少し幅広い視野を持って発信して欲しい。	区が関与し、官民連携で発信しているのは「生野区なんでも掲示板」だけとなっています。 この掲示板については、目的が生野区のまちの魅力発信なので、まちの課題といった情報は載せていませんが、ご意見を受けまして、まちの課題を発信し合えるような場についても、官民連携のチーム内で検討していきたいと思います。
高岡委員 服部委員	・学校設置協議会等の日程の案内が届いていないのか、どのように出席したらよいのかわからない。 ・案内は届いているはずなので、賛成も反対もみんなに参加して話し合うべき。	—
新井副議長	学校再編により9つの学校がなくなることについては、こどもたちがより良い公教育を受けられるように、未来のこどもたちのために動いているように思う。	—
新井副議長	自転車マナーの問題について、サイズの合わない自転車に乗っていたり、朝にスピードを出しすぎていたり、マナーが非常に悪いので、皆様が本当に気を付けてわが身を守っていただきたい。	—
新井副議長	防災については、ご近所で人と人との顔を見合わせ、どこに誰が住んでいるかわからない地域にしないことが一番良いことだと思う。	—

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
新井副議長	・生野区でヘイトスピーチに怯えている方がいる。児童虐待もそうだが、お年寄りや立場の弱い方々が心を痛めている。生野区に暮らす方々が気持ちよく生きていけるよう、皆でヘイトスピーチを許さないようにスクラムを組んでいってほしい。 ・本当に生きていく力を養いながら、人に優しい生野区になるために、これからも考えていきたい。	—

令和元年度生野区区政会議(第1回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日: 令和元年6月21日(金)

場所: 生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
猪俣委員	学校再編は、再編ありきで突っ走るのではなく、教育長の話している内容を鑑みていただいて、一旦立ちどまって、そして冷静に話をする機会を設けるように強く進言したいと思う。	中学校区の再編については、まず生野中学校区は4つの校区がありますが、新たな学校の校名など詳細事項について議論する学校設置協議会に参加されているのは2つの校区で、その協議会において新たな学校の設置時期は令和4年度で決まっていますが、最終的には市会の議決を経て正式に決定します。
室谷委員	生野中学校区、西生野、生野、舍利寺、林寺の学校統廃合は決まったのか。あるいは他の中学校である生野南、田島小学校、大池中学校、あるいは鶴橋、勝山中中学校区の避難の問題があったが、それらの学校統廃合の計画は決まっているのか。今の時点での状況をこの場で発言してほしい。	また、田島中学校区や大池中学校区、桃谷中学校区の小学校の再編は決まっておりません。地域・保護者の方のご協力・ご理解がなければ良い学校を作っていけないと思っています。子どもたちの教育環境改善に向けて、引き続き取り組んでまいりたい。
田中委員	少数だからとか、多数だからとかというような数の問題ではなくて、子どもたちの教育の質をどうするかというところがちゃんと話し合うことができれば、再編というのはなし得ないと思う。施設の問題ではなくて、教育の質の問題をどうするかというところの話し合いについては、みんなで、先ほども言われたように安全の問題、保護者との関係、そういったことをやはりみなさんで話し合う場をつくっていかないと、前に進まないというか、やるやらないも決まらないと思う。	—
服部委員	反対、反対と言うが、会議の場に出てきてもらってその反対の言葉を出してほしい。それによってよい案があれば、賛成してほしい。でないと前に全然進まないと思うので、出てきてほしいということを私はいつも言っている。	—
山本委員	ここで反対や賛成と言うよりかは、現在、学校に行かせているご父兄の方には、協議会も設置されているということですので、そこで色々な意見を出してもらって、1つ1つ詰めていってほしい。できないことはできないでやっていったらいいのではと思う。	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
田中委員	インターンシップの話もあったが、高校生の場合、卒業後に大学に行くか、就職するか、専門学校に行くかの選択肢しかなく、それ以外の選択肢として、自分はこういうことを作るのが得意だという子どもがいると思うが、そういう子どもは教育の中で小さくなってしまっているというのが現状だと思う。その中で、そういう不登校などの問題を抱えている子どもたちがいなくなるような学校づくり、どのようにしたらよいのかということをやっぱり考えていけないといけない。	—
田中委員	子どもの送り迎えは大事だし、安全性の面においても場所が近いから、遠いからだけではなく、安全性の面も考慮しなければいけないし、考えなければいけないことがたくさんあるので、ぜひ同じテーブルで、この場だけではなく、もっと違う、もっとたくさん話せるような、提案ができるような場というのをやはり作っていかないといけないと思う。	—
栗信委員	子どもの心、育成を一番に考えていただいて、色々なことをやっていていただきたいと思う。先ほどから話を聞いていると、何か大人の見栄やプライドなど、色々なものが感じられてならない。やはり子どもの数が減っているというところで、箱庭的な教育を子ども自身が受けてしまった場合、結局は大人になって大変な社会へ出て行った時に、ひ弱な心のままで育つということは、私には考えられない。以前にも申し上げたが鶴橋中学校のクラブ活動を見にいった際に、少人数でやっていたが、子どもの心は本当にこの好きなものに向かって突き進めるのか。やっぱり子どもたちが挫折するようなことがあってはならないと思っていた矢先に、桃谷中学校という形になり、私は反対にほっとはしているんですが、先ほどから皆さんの意見を聞いているが子どもの心を忘れてはいないかと思う。区長は、やっぱり里親制度のことを一生懸命されていているということは、やはり色々な心の傷を受けた子どもたちがどんどん増えているということだと思う。それに向かって、やはり箱庭的な教育を受けて弱い、柔い心で育ってしまっただろうが、それは皆さん大人が知恵を出し合ってこその教育だと思う。子どもの心を忘れないでしっかりと議論をしていただきたいと思う。	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
亀田委員	ろう学校前での事故があったが、それについて、ガードレール設置や通学路の話もあったが、安全点検などをした場合のガードレールの設置や安全面の対策について、区としても何らかの取り組みをしているのか。 あと防災計画の絡みで大池中学校で中学校の防災について、教室など、どこがどう使える、使うとか、小学校が何校かあるが、なかなか合同で話し合いをする場ができない、そろわないのでできない状況である。地域でも大池中学校のほうは近い、中川であれば町会があるが、その場合、大池中学校に行ったとしても、今のところ防災計画が出来上がっていないので、どこの教室を使って、どのように割り振りをするのかというのが全く決まらないまま、どうしたらよいかということを毎回防災の会議で聞かれるようになってきているので、そこらを区としてサポートできる取り組みなどされるのかを聞きたい。	子どもたちの安心安全ということですが、この間色々な事故等が起こっています。大阪市では、子どもたちの登下校の通学路の交通安全プログラムということで、年間4校ぐらいを順次、区役所が中心になり、建設局、警察、学校が一緒になって通学路を点検した上で、危険箇所については、どのような対策がよいのかということを検討させていただいた上でガードレールなど、なかなか難しいところもありますが、必要な対策を行っていくという取り組みをしています。そういったことを引き続き進めながら、安全対策を行ってまいりたいと思います。 あと中学校の防災、避難所の関係ですが、各地域が重なるところもあるため、一緒になって考えていかなければいけないということでは進めています。ただ、なかなかうまくいっていないところも実際はありますので、急にこれをやったらうまくいくというのは、難しいかもしれませんが、区役所も中に入らせていただいて、できるだけスムーズにいくような形で関わらせていただきたいと思います。個別の課題にもなるとしますので、また改めて色々なお話ができればと考えております。
山本委員	事前に意見を出した内容について、区の回答では、「大阪市市内環境管理計画」に基づき、平成11年度から庁舎内の冷房時の設定温度を28度としているとのことだが、これは20年前に定めたものであることから、適宜、状況により設定温度を下げるなどの工夫をすればよいと思う。	設定温度について、大阪市市内環境管理計画の中に定められていますが、元は環境省による事務所の衛生基準規則にて定められ、室温の範囲が17度から28度の間となっています。委員ご指摘のとおり、湿度なども加味しながら適宜対応していきます。